

クローバーグループ連携事業「俳句」：ちやまを詠む…

令和元年度秋冬（九月～二月）の部 入賞作品

テーマ 「勝山の四季折々」を詠む

選者 福井県俳句作家協会副会長
福井県俳句作家協会幹事

嶋田 洸石
石畝 千恵子

特選 勝山城歴史とともに舞う紅葉

福井県坂井市 中谷 栄味子

選評

勝山城そのものの歴史は未だ浅いが、城内の展示品には、それぞれ歴史を感じ
じる逸品が揃う。その道の諸氏であれば、必ずや満足戴けるものと確信する。
季語「紅葉」を当てて、句は尚一層の輝きを増す。

特選 蛸や岩神在す大矢谷

福井県越前市 馬場 春之

選評

大矢谷は旧平泉寺村の一在所の名称で、神社境内に坐す大岩が有名。経ヶ岳
の噴火によって飛来したものと云われている。泰澄大師の一の宿でもあった大
矢谷は後に引越して来た一部落とも云われている。近くに小矢谷という在所
もあって興味深い。

特選 屋根雪落つもう少しだけまゆの中

福井県福井市 今井 ゆかり

選評

そろそろ春を感じる頃の作句、上手に仕上がった俳句です。まゆの中は、如
何にも俳句らしい云いまわしで、春を待つに手応え充分の句です。

入選 戦いを知らぬかぶとと花しようぶ

福井県越前市 有定 美絵

入選 へいせんじこけのじゅうたんふつかふか

福井県福井市 こいけたいすけ

入選 焼き打ちのはるか遠くや山眠る

兵庫県芦屋市 大谷 美根子

入選 白山の苔の湿りや秋の声

滋賀県長浜市 水相 修躬

入選 清大寺汗ぬぐはずに合掌す

奈良県香芝市 中西 倭

入選 山々は絹の衣で冬支度

福井県福井市 渡邊 勇吾

入選は順不同